



かんたん準備ガイド

ロケーションフリーベースステーション LF-PK20

※詳しくは、付属の「取扱説明書」をご覧ください。

ご愛用者アンケートのお願い

このたびはソニー製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。今後のより良い製品作りの参考とさせていただきますので、是非アンケートにご協力ください。アンケートにご協力いただいた方の中から抽選で粗品を差し上げます。

ユーザーアンケート WEB URL
<http://www.sony.co.jp/reg/LF-PK20>

※詳しくは、アンケートホームページをご覧ください。

「SONY」や「LocationFree(ロケーションフリー)」はソニー株式会社の登録商標です。Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporation(米国)およびその他の国における登録商標または商標です。その他、本稿に記載しているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では「TM」マークは明記していません。

©2006 Sony Corporation Printed in Japan

設定をはじめる前にご確認ください

箱の中身を確かめる

- 本体 LF-PK20
- ACパワーアダプター AC-LX1B
- 電源コード
- スタンド
- アンテナ接続ケーブル
- AVマウス VM-50

- かんたん準備ガイド
- 保証書
- 取扱説明書
- 「使用上のご注意」シール
- アナログ停波のお知らせ

その他の準備物

- LANケーブル
本機をルーターに接続する際に使用します。また、本機をワイヤレスルーターに接続する場合も、設定を行うために使用します。
- 映像・音声コード
ビデオ機器を本機に接続する際に使用します。
- アンテナ分配器
本機以外にもテレビやビデオ機器などにテレビアンテナ線を接続する際に使用します。
- UPnP対応ルーター (外出先から使用する場合)
動作検証済みUPnP対応ルーターはロケーションフリーホームページをご覧ください。

設定に必要な情報 (シール)

ご注意

インターネット経由での機器登録に必要な情報の取り扱いには充分注意してください。他人に教えたり、インターネット上へ公開したりすると、予期しない第三者が勝手に登録を行う可能性があります。詳しくは取扱説明書をご覧ください。

困った時は？

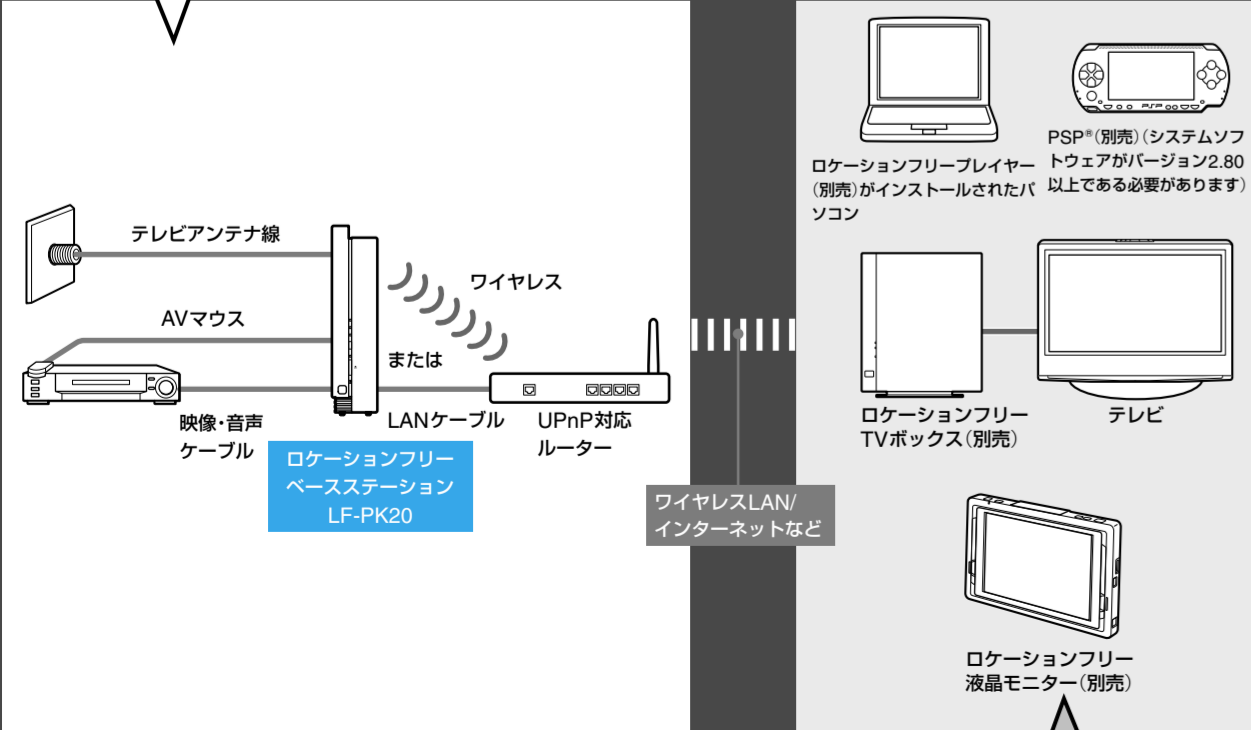
本機に付属の「取扱説明書」または「よくある質問」についてのホームページ (<http://www.sony.co.jp/locationfree/QA/>) をお読みになるか、本ガイド裏面に記載されている「ロケーションフリーカスタマーサポートセンター」までお問い合わせください。

準備と設定の流れ

STEP1 ベースステーションの設定を行う

このガイドを参照して、本機にテレビやビデオ機器を接続するための配線、ネットワークに接続するための配線や設定を行う。

- ① 接続方法を確認する。
 - ② ワイヤレスルーターに接続するための準備を行う。
- ※本機とルーターをワイヤレス接続する場合のみ必要です。
- ③ ベースステーションの配線を行う。



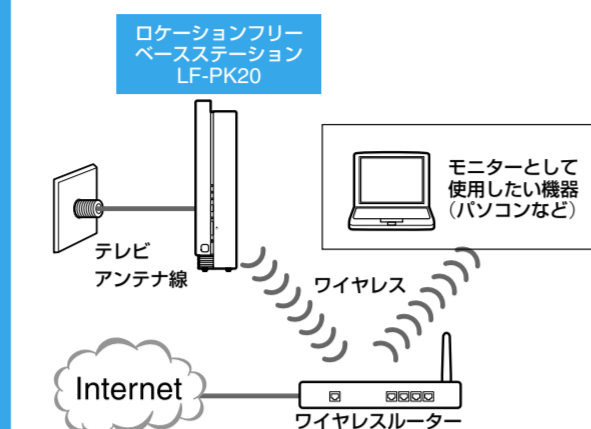
STEP2 お持ちのモニター機器を機器登録する

ベースステーションの設定が終わったら、お持ちのモニター機器を本機に機器登録してください。

STEP1 ベースステーションの設定を行う

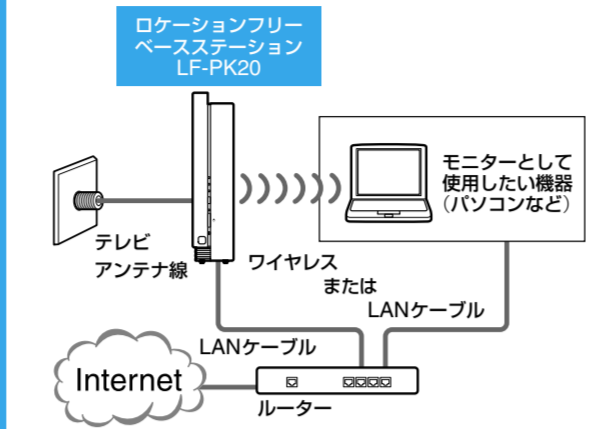
1 接続方法を確認する

Type A 本機をワイヤレスルーターとワイヤレスで接続する



2、3 を行ってください。

Type B 本機をワイヤレスアクセスポイントとして使用する(またはルーター経由で有線LANで接続する)



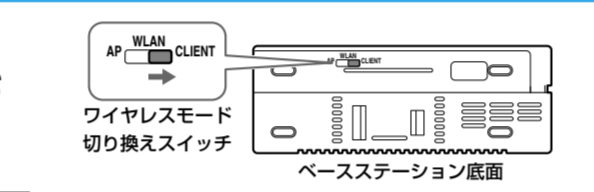
3 を行ってください。
ベースステーションとモニター機器のみを、直接ワイヤレスで接続して使用する場合は、ルーターへの接続は必要ありません。

2 ワイヤレスルーターに接続するための準備を行う

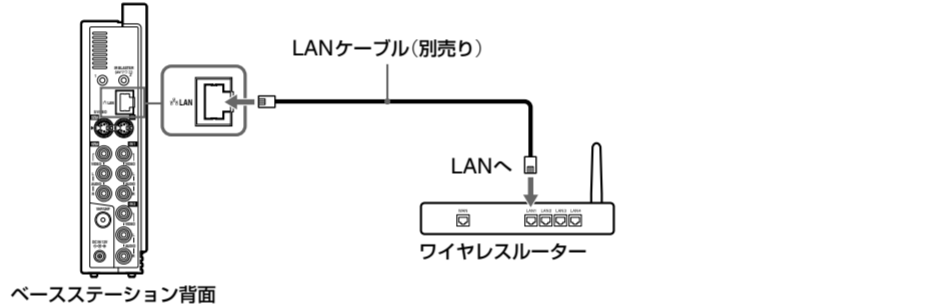
ここではベースステーションとワイヤレスルーターを仮接続し、必要な設定を行います。お持ちのワイヤレスルーターの近くで設定を行ってください。設定が終了したら、ベースステーションをテレビアンテナ出力やビデオ機器の近くに移動し、「③ ベースステーションの配線を行う」をご覧ください。

この設定は「ロケーションフリープレイヤー PC用 (Windows PC)」(LFA-PC20)を利用して行います。

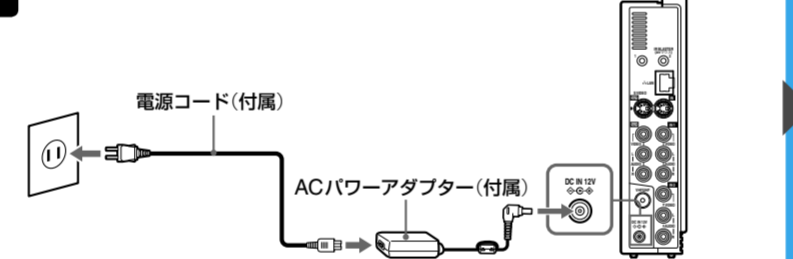
1 ベースステーション底面のワイヤレスモード切り換えスイッチを「CLIENT」に切り換える。



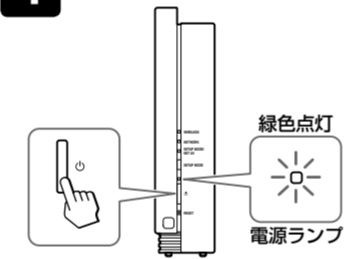
2 ベースステーションとルーターをLANケーブルでつなぐ。



3 電源コードをつなぐ。



4 電源を入れる。



5 ワイヤスランプが緑色に点滅していることを確認する。

ご注意
ワイヤスランプが緑色に点灯している場合は、底面のワイヤレスモード切り換えスイッチが「AP」になっています。確認してください。

6 お持ちのパソコンにロケーションフリープレイヤー PC用 (LFA-PC20) をインストールし、ベースステーションをワイヤレスルーターに接続するための設定を行う。

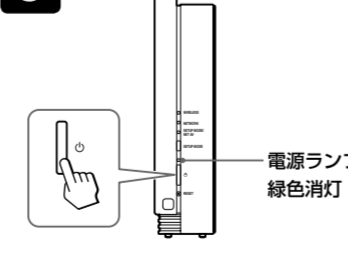
ロケーションフリープレイヤー (LFA-PC20) を起動し、設定画面にしたがって進んでください。パソコンのWEBブラウザに表示されたベースステーション設定画面 (ワイヤレスクライアント) の指示にしたがい設定を行ってください。

ご注意
パソコンとベースステーションが同じルーターに接続されていることを確認してください。

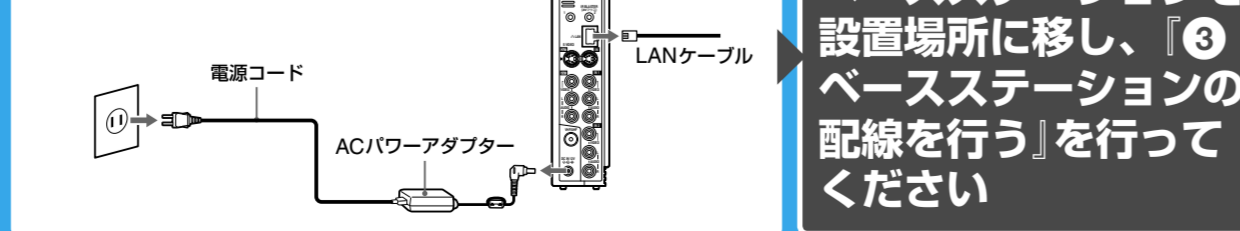
7 ワイヤスランプが緑色に点灯したことを確認する。

ワイヤレスルーターに接続すると、ワイヤスランプが緑色に点灯します。

8 電源を切る。



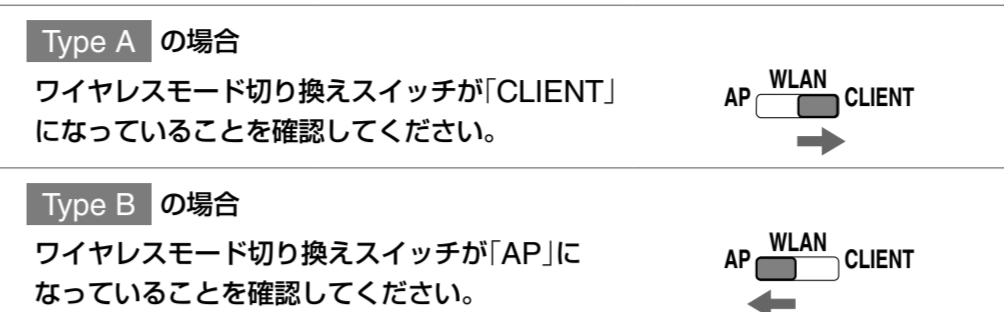
9 ベースステーションからLANケーブルとACパワーアダプターを抜く。



設定が終了したら、ベースステーションを設置場所に移し、「③ ベースステーションの配線を行う」を行ってください

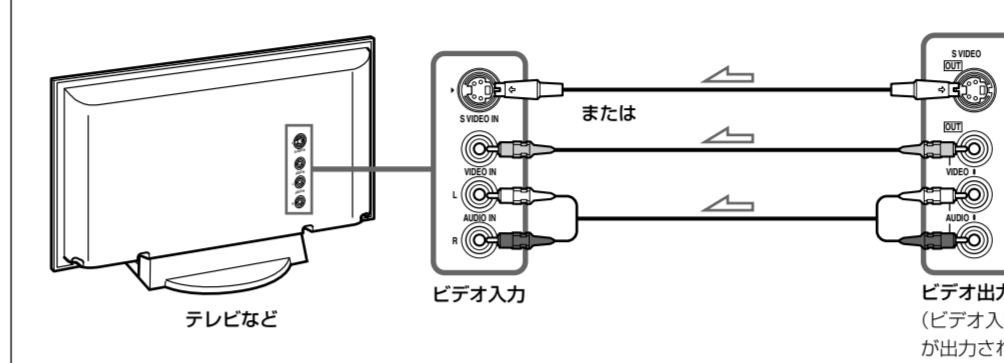
3 ベースステーションの配線を行う

1 ベースステーション底面のワイヤレスモード切り換えスイッチの位置を確認する。

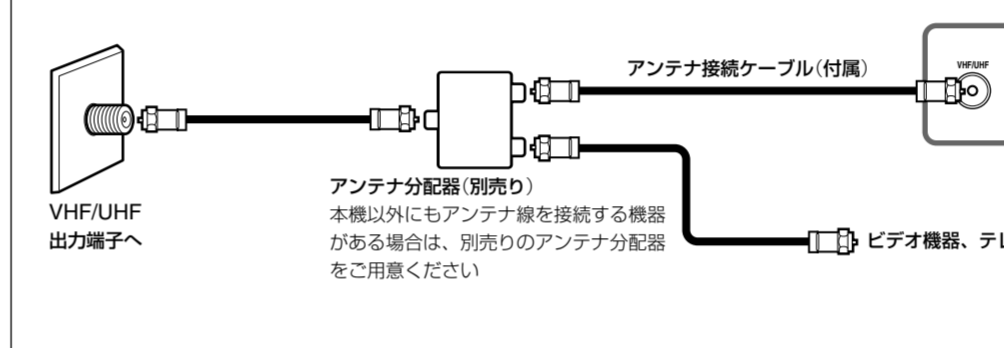


3 ベースステーションにテレビアンテナおよびビデオ機器を接続する。

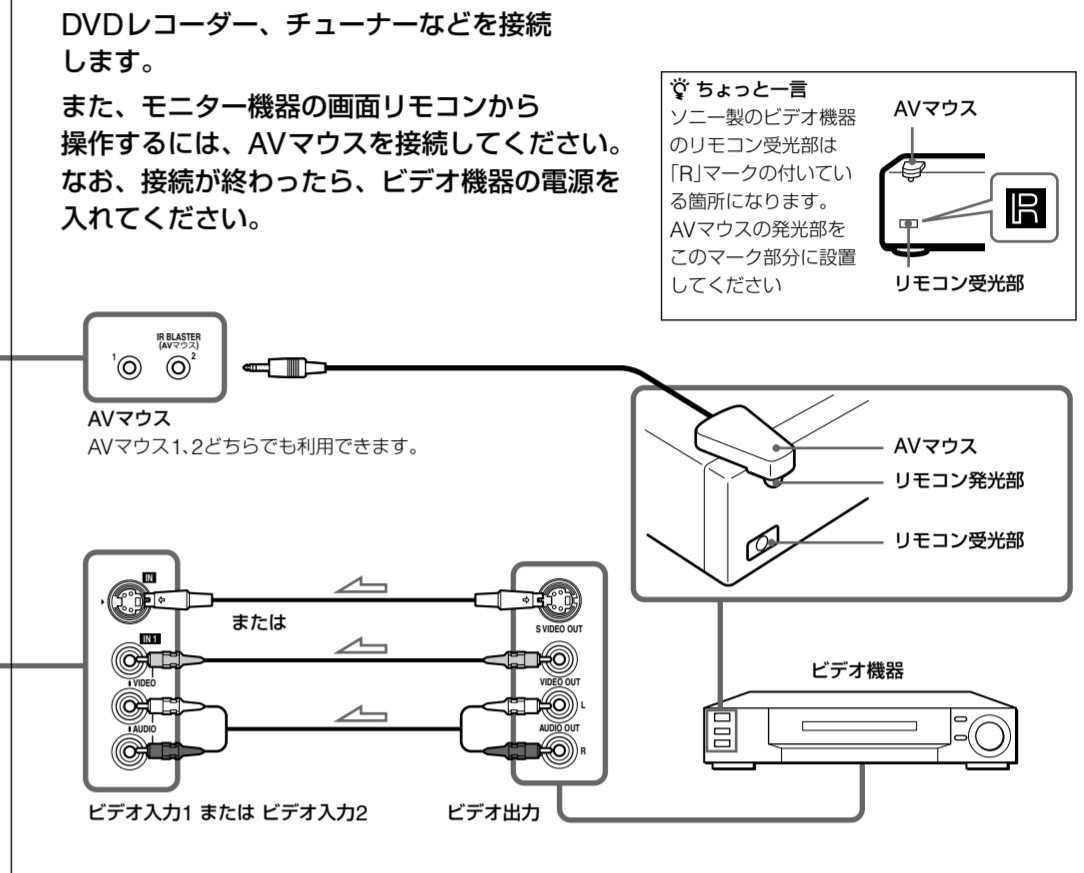
ビデオ出力端子にテレビなどを接続する
ビデオ入力1に接続した機器の信号が、そのままビデオ出力から出力されます。



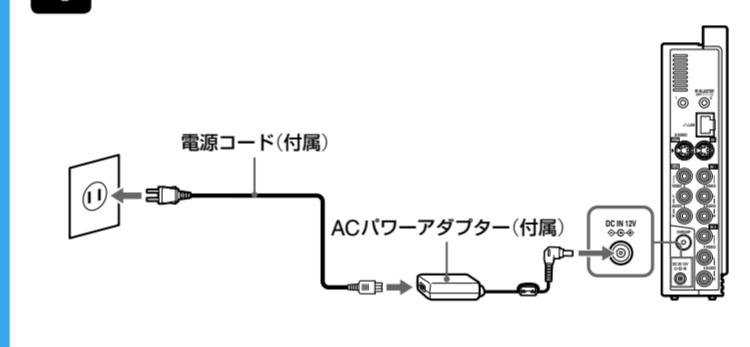
テレビアンテナ線をつなぐ



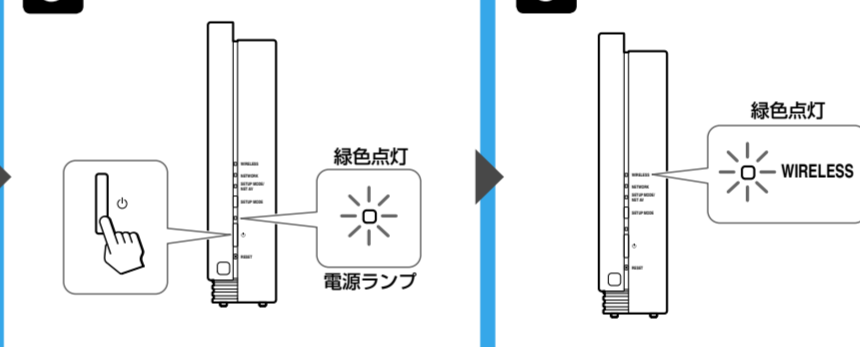
ビデオ機器を接続する
DVDレコーダー、チューナーなどを接続します。また、モニター機器の画面リモコンから操作するには、AVマウスを接続してください。なお、接続が終わったら、ビデオ機器の電源を入れてください。



4 電源コードをつなぐ。



5 電源を入れる。

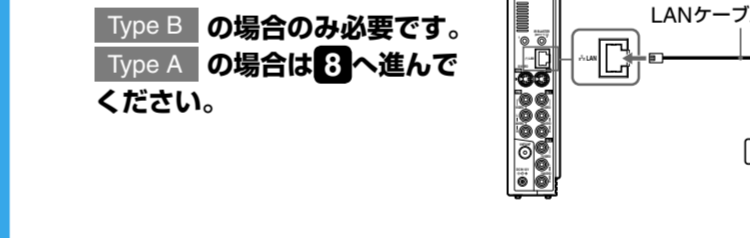


6 ワイヤスランプが緑色に点灯していることを確認する。

ご注意
Type Aの場合はワイヤスランプが点滅から点灯に変わります。もし点滅したままの場合はルーターからの電波が届いていません。設置場所などを確認してください。
※ ご注意
Type Aの場合はワイヤスランプが点滅から点灯に変わります。もし点滅したままの場合はルーターからの電波が届いていません。設置場所などを確認してください。

ここまでで家の中で使用するための設定が完了です。引き続き、外出先から使用するための設定を行ってください。

7 ベースステーションとルーターをLANケーブルで接続する。



8 ネットワークランプが緑色に点灯していることを確認する。

ご注意
IPアドレス取得中はネットワークランプは緑色に点滅します。また、IPアドレスが取得されるまで時間がかかることがあります。

9 セットアップモード/NetAVランプが消灯することを確認する。

外出先からの設定が完了すると、セットアップモード/NetAVランプが緑色点滅から消灯します。
ご注意
セットアップモード/NetAVランプがオレンジ色に点灯している場合はNetAVテストを行ってください。詳しくは取扱説明書をご覧ください。

STEP2 お持ちのモニター機器を機器登録する

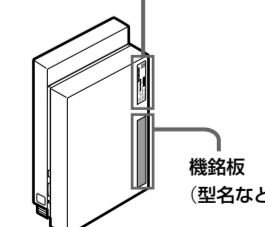
ベースステーションの設定が終わったら、お持ちのモニター機器をベースステーションに機器登録すれば、接続したテレビやビデオを楽しむことができます。

- PC (Windows)**
 - ① ロケーションフリープレイヤー (LFA-PC20) (別売) をPCにインストールする。
※ 同じベースステーションに対して複数のPC (LFA-PC20) をご使用になる場合、PCの台数分のソフトウェア (シリアルキー) が必要となります。
 - ② デスクトップのアイコンをダブルクリックし、ロケーションフリープレイヤーを起動する。
 - ③ 表示される画面にしたがって、機器登録と設定を行う。
- ロケーションフリーTVボックス (別売) (LF-BOX1)**
ロケーションフリーTVボックスに付属の「かんたん準備ガイド」、または「取扱説明書」にしたがって、機器登録と設定を行ってください。
- ロケーションフリー液晶モニター (別売) (LF-12MT1)**
ロケーションフリー液晶モニターに付属の「かんたん準備ガイド」、または「取扱説明書」にしたがって、機器登録と設定を行ってください。
- PSP®**
 - ① PSP®のシステムソフトウェアをバージョン2.80以上にする。
 - ② PSP®のワイヤレスLANスイッチをオンにする。
 - ③ ホームメニューの④から⑤を選ぶ。
 - ④ 画面の指示にしたがって、機器登録を行う。

Type B ベースステーションをワイヤレスアクセスポイントとしてパソコンなどの機器を接続する場合

パソコンをワイヤレスでベースステーションに接続するには、パソコンのワイヤレスネットワーク接続を設定し、ベースステーションと通信できるようにします。

SSID: LocationFree.....
WEP Key: *****
LoginPassword: ABCD
SERIAL NO. 0000000



接続に必要な情報 (SSID, WEP Key) は、本ガイドに貼付されているシール、もしくはベースステーション側面のシールに記載されています。

※ 詳しい設定方法については、パソコンやワイヤレスLANカードなど、ワイヤレスLAN機器の取扱説明書をご覧ください。

それぞれの詳細な設定や使いかたについては、モニター機器に付属の取扱説明書をご覧ください。また、その他のモニター機器についての機器登録や設定については、モニター機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。

しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

<div><div>↓</div></div>	
<div><div></div></div>	
安全のための注意事項を守る	
本書の注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。『使用上のご注意』もあわせてお読みください。	
定期的に点検する	
設置時や1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、プラグがしっかり差し込まれているか、などを点検してください。	
故障したら使わない	
動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはロケーションフリーカスタマーサポートセンターに修理をご依頼ください。	
万一、異常が起きたら	
<div><ul style="list-style-type: none">煙が出たら異常な音、においがしたら内部に水、異物が入ったら製品を落としたり、キャビネットを破損したとき</div>	<div><ul style="list-style-type: none">ベースステーションの電源プラグをコンセントから抜くお買い上げ店またはロケーションフリーカスタマーサポートセンターに修理を依頼する。</div>

この説明の前に、この安全のために印刷された取説説明書をよくお読みください。取説説明書には、お買い上げ店または、お買い上げ店に必ずお読みください。必ず守ってください。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。



この表示の注意事項を守らないと、感電その他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

行為を禁止する記号


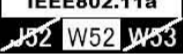
行為を指示する記号

ベースステーションのワイヤレス通信について

電波障害自主規制について

この機器は2.4GHz帯および5GHz帯の無線周波数帯を使用していますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。この機器と他の無線機器間との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

	この無線機器の使用周波数は2.4GHz帯および5GHz帯を使用します。変調方式として2.4GHzはDS-SSおよびOFDM変調方式、5GHzはOFDM変調方式を採用し、干渉距離は20mです。
	ベースステーションの5GHz帯無線LAN周波数5 150 ～ 5250 MHz(36, 40, 44, 48 ch)に対応しています。詳細については、 http://www.sony.co.jp/locationfree/QA/ をご覧ください。
	

ワイヤレス通信に関するご注意

- ベースステーションは、床から離れた、安定した場所に設置してください。
- 次のような環境で使用すると、ベースステーションとパソコンとの間で電波が通りにくくなり、通信距離が短くなることがあります。
 - 鉄骨/コンクリート/石の壁や床/床暖房の入った床
 - 鉄製の間仕切りドア、防火ガラス、金属などの材料を使った家具や電化製品などがベースステーションとパソコンの間にある場合

<2.4GHz帯の場合>
この機器の使用周波数は2.4GHz帯を含んでいます。この周波数帯では電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。
1. この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにこの機器の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、ロケーションフリー カスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
●電子レンジ使用中に、2.4GHz帯を使用した場合本機のワイヤレス通信が電子レンジの発する電波の干渉を受け、画像が乱れることがあります。電子レンジから離れた場所で本機を使用してください。電子レンジを使用していないときは、本機は干渉を受けません。
●近くで2.4GHz、IEEE802.11b、IEEE802.11g準拠のワイヤレスLANアクセスポイントまたは、無線機器を使用しているとき、電波の干渉を受け場合があります。

<5GHz帯の場合>
●5GHz帯無線LANの使用は、電波法により屋内使用に限定されます。
●近くで5GHz、IEEE802.11a準拠のワイヤレスLANアクセスポイントまたは、無線機器を使用しているとき、電波の干渉を受け場合があります。

この機器には、電波法に基づく認証を受けた無線設備が内蔵されており、証明ラベルは無線設備上に表示されています。

ワイヤレスチャンネルの変更については、取扱説明書の「ワイヤレス設定」をご覧ください。

ワイヤレスLANのセキュリティについて

ワイヤレスLANではセキュリティの設定をすることが非常に重要です。セキュリティ対策を施さず、あるいは、ワイヤレスLANの仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。

詳細については、

<http://www.sony.co.jp/locationfree/QA/>

をご覧ください。

本機のワイヤレスLANの接続方法については、取扱説明書(PDF)をご覧ください。

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**などにより**死亡や大けが**の原因となります。

雷が鳴りだしたら、本機や付属品に触れない
感電の原因となります。



油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には置かない